

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アルカリペプトン水‘栄研’
製品コード	E-KD03
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
推奨用途	細菌検査用の培地として使用
使用上の制限	推奨用途以外の目的には使用しない。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類		
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
GHSラベル要素		
絵表示又はシンボル		
注意喚起語	警告	
危険有害性情報	H319強い眼刺激	
注意書き	該当なし	
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	該当なし	
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	該当なし	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	炭酸ナトリウム
慣用名又は別名	該当しない
化学物質を特定できる一般的な番号	(CAS RN:497-19-8)
成分及び濃度又は濃度範囲	炭酸ナトリウム(2.25%)
官報公示整理番号	(1)-164
GHS分類に寄与する成分	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。炎症を生じた時は医師の手当を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

水で十分に口の中を洗浄し、必要があれば医師の手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状

吸入

情報なし

皮膚

情報なし

眼

情報なし

経口摂取

情報なし

最も重要な兆候及び症状

情報なし

応急措置をする者の保護に 必要な注意事項

情報なし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡

使ってはならない消火剤

該当なし

火災時の特有の危険有害性

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは、移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

消火活動を行う者の特別な 保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急措置

作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。

少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよくふき取る。

土砂等(の不燃物)で困って抽出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する
漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

二次災害防止策

飛散したものはできるだけ拭き取って回収し、その後多量の水を用いて洗い流す。

危険でなければ漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

特になし

安全取扱い注意事項

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。

接触回避

吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

特になし(記載例) 光及び冷風を避けて、2～10℃に凍結させないように保管する。添付文書
又は使用説明書の保管方法に合わせる。

安全な容器包装材料

ガラス、ポリエチレン、アルミニウムパック、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 等

管理濃度

日本産衛学会

ACGIH

未設定

未設定

未設定

設備対策 保護具

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

特別な注意事項

9. 物理的及び化学的性質

アルカリペプトン水‘栄研’

物理状態

物理状態

固体

色

白色

臭い

特異なおいがあるが腐敗臭はない。

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

8.6±（調製後）

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分分配係数(log値)

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

その他のデータ

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

指定の保管条件及び取扱においては安定と考えられる。

化学的安定性

指定の保管条件及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

日光、熱、湿気

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

その他

11. 有害性情報		
急性毒性 経口	区分に該当しない	
急性毒性 経皮	区分に該当しない	
急性毒性 吸入:粉じん、ミスト	区分に該当しない	
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし	
皮膚感作性	データなし	
生殖細胞変異原性	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性	データなし	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし	
誤えん有害性	データなし	
その他		
12. 環境影響情報		
生態毒性 短期(急性)	区分に該当しない	
生態毒性 長期(慢性)	区分に該当しない	
残留性・分解性	データなし	
生態蓄積性	データなし	
土壤中の移動性	データなし	
オゾン層への有害性	データなし	
他の有害影響		
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		
残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。	
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。	
14. 輸送上の注意		
国際規制		
国連番号	該当しない	
品名(国連輸送名)	該当しない	
国連分類	該当しない	
容器等級	該当しない	
海洋汚染物質	該当しない	
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない	
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。	
国内規制がある場合の規制情報	該当しない	
国内規制 海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。	
国内規制 航空規制情報	航空法の規定に従う。	
国内規制 陸上規制情報	消防法の規定に従う。	
応急措置指針番号		

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されている。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認すること。

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物 質
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない
化審法	該当しない
消防法	該当しない
労働基準法	該当しない
航空法	該当しない
船舶安全法	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない
土壌汚染対策法	該当しない
下水道法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
麻薬及び向精神薬取締法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない

16. その他の情報

安全上重要であるがこれまでの項目名に直接関連しない情報

引用文献

その他

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。